



岡山県合唱連盟機関紙

トウッティ 第62号

発行責任者：岡山県合唱連盟事務局長 山田 威夫

事務局：岡山市京山2-3-9-601

TEL:086-214-6523 FAX:086-214-6559

電話受付は留守電対応となります。

<http://www.geocities.jp/jcaokayamahome/index.htm>

編集者：岡山県合唱連盟事務局次長 菅尾 多美

E-mail: tamicchi@palette.plala.or.jp

がんばっています... 国体合唱団

岡山県合唱連盟理事長 上月 明

「晴れの国おかやま国体・輝いて!おかやま大会」の開催が近づいて参りました。モデル合唱団で式典音楽の検証会に出演し、CDの録音もしました。その後、岡山県合唱連盟全体に呼びかけて国体合唱団を編成し、300人体制で練習に取り組んできました。あと3か月でいよいよ夏季大会が始まります。

国体合唱団は数多くの合唱団からの参加を得て特別に編成された合唱団ですが、練習を重ねるたびに演奏はもちろんのこと、国体に向けての気持ちが少しずつまとまっていく実感もあって、岡山県合唱連盟の秘めたエネルギーを強く感じます。大会本番ではきっと素晴らしい合唱を披露できることでしょう。

岡山県合唱連盟として大編成の合唱団を組織し、演奏するのは岡山県合唱連盟50周年記念演奏会以来です。2年後には、岡山県合唱連盟の60周年を迎えます。こういった形になるか分かりませんが、記念事業を検討中です。岡山県合唱連盟の歌う仲間が一体となって、記念事業が実施できればと考えています。43年ぶりに開催される岡山国体がきっかけとなり、国体合唱団で生まれたエネルギーが、岡山県合唱連盟の新たな活動に発展することを期待します。



岡山県合唱フェスティバルに国体合唱団が登場! 岡山国体イメージソング「RUN」を熱唱しました! 本来なら歌っているかわいい写真のはず...なのですが、カメラマンも歌うため、演奏前の変な写真になってしまいました。みなさま、すみません。

あとひといき。

よりよい演奏で国体を成功させましょう!

第58回岡山県合唱フェスティバルは、山陽放送様の多大なご支援を得て6月12日(日)岡山シンフォニーホールにて開催されました。

出場56団体のうち、今U BOJ 合唱団・国体合唱団・OSCAの3団体が合同合唱団の演奏でした。大人数の合唱はいかがでしたでしょうか。また第4回近藤指揮者賞の受賞者は康広美千子先生でした。

さて、恒例のレセプションは今年も笑いがいっぱいでした。講評の吉森章夫先生・香月ハルカ先生・浅井敬壹先生からのごあいさつには、たいへん励まされました。中でも、浅井先生からは「フェスティバルは、朝から晩まで全部の出場団体の演奏を聴いて、アナウンスを聴いて、まるごと全部聴いて楽しむのが『フェスティバル』。会場ががらがらの映像では放送しづらいから深夜の放送になる。みんなで聴きあって、お客さんを誘って会場をいっぱいになればゴールデンタイムの放送にもらえるでしょう。」とはばをかけられました。また、石田アナウンサーからもよりよい表現にするためのすばらしいアドバイスもいただきました。

とても楽しい連盟のレセプションに来年はあなたも参加してみませんか?



会場はこの後、U BOJ ラインダンス大会に



春季合唱講習会開催!

昨年から楽しみにされていた方も大勢いらっしゃいました。楽しくてわかりやすく、目からウロコ!の大志万明子先生の発声講習会が、5月14日は鏡野町ペスタロッツ館で、5月15日は山陽女子中学校・高等学校上代記念館で開催されました。

今回、岡山会場で初めて参加者アンケートを試みて感想を伺ってみました。参加者のみなさんが「いい声になったことが実感できたので、これからも努力していきたい」と感じられていることがわかりました。また、合唱講習会を上手に活動に取り入れている合唱団もあるようです。今号でも少しご紹介しますが、詳細は後日各団体に配布させていただきますアンケートの集計結果をご覧ください。1日講習で時間をかけて「自然なうつくしい声」にしていくので、誰でも無理なくいい声になります。次の練習が楽しみになること請け合いです。他の人の感想を読んでもなかなかピンとこないかもしれませんが、

物が試して来年はぜひ体験してみてくださいね! (事務局 筈尾 多美)

姿勢をよくするコツがわかった!

~ 春季合唱講習会に参加して ~

津山市民コール「アンダンテ」 瀬戸 宏明

私は去る5月14日鏡野で開催された、岡山県春季合唱講習会に参加しました。実は私は前日までこの講習会のことを知らず、急遽参加することとなりました。結論から言うと、この講習会は私にとって大変ためになるものであり、参加して本当によかったと感じています。

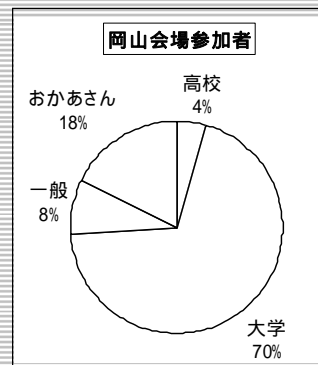
私が大志万先生の講習を受けるのはもちろん初めてなのですが、多くのことを理解しやすく教えてくださいました。なかでも歌を歌う上で最も基本となる発声方法について、これまではなかなか頭でわかっていても体で実践できずにもどかしく思っていました。しかし、先生は体を楽器にたとえ、よく響く楽器を作ろうということで、呼吸法や声の飛ばし方などをわかりやすく教えてくださいました。これを実践することにより自然とよい発声ができるのではないかと感じています。また、ストレッチや呼吸の仕方ひとつでも生活の中で「よい楽器を作るため」に努力できることがたくさんあると気づきました。

私は姿勢が悪いほうなのですが、先生に教えていただいた「へそを斜め上に向ける」、「ちょんまげ」、「オッス」等のキーワードを意識し、実践することによりずいぶん歌うときのよい姿勢がわかってきた気がします。講習会以降何度か歌う機会があったのですが、胸の中が広がる感じが実感できました。この姿勢をよくするコツがわかったことが、今回私にとって一番の収穫でした。

発声、姿勢については今回大変理解を深めることができました。ただ、先生に教えていただいた中で表情豊かになるということがまだまだ私には足りないもので、今後の課題となっています。表情豊かに歌うことで、きっと歌にも表情ができ、人の心に響く歌が歌えるのでは、と考えています。

最後に、大志万先生、講習会の開催スタッフの皆さんありがとうございました。たいへんお世話になりました。今後よりよい歌を歌っていくために、この講習会で教えていただいたことを思い出しながら練習に臨みたいと思います。

岡山会場のアンケート結果



参加者134人

いつも大学生の参加が最も多いのですが、今年もおかあさんの参加大健闘! 高校生も少数ながら毎年参加!!

感想

高校生

高い声の出し方が分かりました。それから、のどを使わずに響く声を出せるようになりました。

大学

もっと堅苦しいかと思っていたので、おもしろいし、楽しいし、びっくりしました。しかも、ためになるのばかりで、がんばって自分のものにしようとおもいます。

一般

よくわかりました。明日の練習が楽しみです。

おかあさん

ちょっとしたポイントで声がぜんぜん変わることが実感できて嬉しかったです。いつもこの発声をわすれないでいたら合唱団の声もどんどん変わっていくと思います。がんばります!!

詳細は、集計を読んでくださいね!

人と人をつなぐ架け橋 ～「おーい、ニッポン 私の好きな岡山県」出演～ 倉敷男声合唱団 宮地 伸幸

去る5月29日(日)に「おーい、ニッポン 私の好きな岡山県」という番組の中の「ふるさとラブソディー」のコーナーに合唱団員の1人として出演させていただいた。前回「おーいニッポン」が岡山県で行われた時には、私は仕事の関係で東北の勝山町(現在は真庭市)に住んでいた。その時は自分にとって遠い存在だったが、もしかして同じ番組のステージに今自分が立っているのかと思うと感激もひとしおだった。このたびは岡山県内の21の合唱団から約370名が集まり、さらにマーチングバンド、倉敷天領太鼓、オーケストラ、パトントームを合わせて総勢800名あまりが心をつなげて演奏し、大成功をおさめた。だが、それだけではない。会場に演奏を聴きに来てくださった方々、テレビで聴いてくださった方々も含めて、小六禮次郎さん作曲の「岡山うた物語」という楽曲の力で一つのとても大きな架け橋が完成した。まさに「人と人をつなぐ架け橋」と言える、かけがえない橋が。

歌は、日常の生活の忙しさを一時忘れて没頭させる力を持っている。私が根っからの合唱好きだからそう思うのかもしれない。また、歌うこと、そしてみんなで音楽をつくりあげていくことで、その場にいる人たちが同じ空気を吸うことができる。さらに同じ感動を分かち合うことができる。それを強く感じる事ができたのが今回の「ふるさとラブソディー」だった。

「今まで生きてきた中で一番幸せです」という水泳の岩崎恭子さんの名ゼリフ。「岡山うた物語」を歌い終えた瞬間、まさにそれと同じ心境になった。31年間生きてきて初めて味わう達成感だったような気がする。演奏後に流された倍賞千恵子さんの涙が「みんなで一つのものをつくりあげる」ことの偉大さを物語っていた。これぞまさに本当の意味での「岡山うた物語」だと感じ、胸があつくなっていった。また、それまでの練習、リハーサルでの1つ1つの出来事、経験も一生の宝物になっているのを実感した。今回参加された方全員がそう思われているに違いない。

私は今回の出演を通じて、充実感とともに、これからの合唱人生への自信を身に付けることができた。日々色々な忙しさはあるが、今の自分に満足することなく、謙虚な気持ちで常に前を向いてよりよい音楽をつくるべく努力を重ねたい。そして、聴く人の記憶に残り、感動を与えられる歌を提供していきたいと思っている。人と人をつなぐ架け橋が「栄光の架橋」となることを願い、そう確信して・・・。

近藤安个先生の古希を祝うコンサート 岡山市民合唱団鷺羽 田辺 真一

近藤安个先生が古希を迎えられました。日頃から近藤先生の合唱指導を受け、合唱のすばらしさを体験させていただいている幸せ者の一人として、お祝いのパーティーをしようとして先生に相談したところ、「パーティーはやめとけ、演奏会をしてはどうか。」との提案があり、早速、近藤先生の教え子が指導している合唱団、近藤先生が指導された合唱団に連絡したところ、福岡、徳島、大阪、尾道、福山、の遠方を含め、27団体、総勢788名の方々に参加される運びとなり、演奏会名を「近藤安个と合唱の仲間たち 古希を祝う」としました。

5月4日、午後1時から5時という長時間の演奏で、心不全と心筋梗塞という重病から回復されたばかりの近藤先生にはきついと思っていたのですが、最後まで楽しまれ、大変なお喜びようでした。演奏を聴いていた我々も、近藤先生の教え子たちが指導する合唱に魅了され、最高齢95歳の出演もあり、古希を祝うにふさわしい温かい空気に包まれ、最初から最後まですてきな熱演で改めて合唱のすばらしさを実感できた1日でした。

出演された合唱団一人一人、進行、司会、舞台設営、受付、誘導、会場、接待等、陰で演奏会を支えてくださった方々、連休の中日を割いて演奏会においてくださった方々に厚くお礼申し上げます。

近藤先生は再入院され、心臓手術も順調に済んだということです。十分休養され、またお元気な指揮がみられること、心から祈っています。

★おおいに満足 25周年演奏会★

倉敷コール・クライネ

平成17年5月8日、倉敷コール・クライネは、創立25周年第23回定期演奏会を倉敷市民会館において開催いたしました。

第1ステージではヨーゼフ・ラインベルガーの「ミサ曲」。京都より月に一度本山秀毅先生にお越しいただき指導していただきました。オルガンの音にのり団友の方々と美しいハーモニーを奏でました。

第2ステージは初めてミュージカル「サウンド オブ ミュージック」に！！挑戦！！

修道女、子供役、そして紳士・貴婦人??に(タカラヅカも真っ青!!)英語の歌の暗記に振り付けに役になりきり頑張り、目頭が熱くなりました。大森友美子先生も大満足♡♡

第3ステージでは倉敷男声合唱団に賛助出演していただき、気分一新ゆったりと男声合唱組曲「海に寄せる歌」よりを歌っていただきました。

最後の第4ステージでは団長で25年間 倉敷コール・クライネを育てられた田中浩先生による 女声合唱組曲「少女のいる画集」でした。パールのイヤリングにサーモンピンクのドレスとなりはなやかに歌い終え、充実と満足感、笑顔いっぱい演奏会でした。♡♡ 25周年 ありがとう ♡♡



コピー楽譜の使用について

倉敷男声合唱団 森脇 英樹(著作権相談員)

皆さまの合唱団では日常的にコピー楽譜をよく使用されていませんか。しかし、楽譜をコピーするには原則として権利者の許諾が必要です。楽譜は音楽作品を具象化したもので、作詞家、作曲家、出版社の権利が込められています。人の知的な創作活動によって産み出された物を無断で利用してはいけないう、すべきではないということから著作権という考え方が生まれ、権利として保護されてきています。

したがってある組曲の1曲だけを演奏会で演奏するときでも、その作品が現在出版されている場合には全曲を各自で購入すべきだと思うのですが、各自が購入した楽譜を、たとえば書き込みをして汚すのは嫌だということからコピーして使うのは問題ありませんので。

ただ、合唱曲、特に男声合唱曲については、あまり売れないことを理由に出版してくれなかったり、出版してもすぐ絶版にされてしまうのも事実です。私たち倉敷男声合唱団では、来年の定期演奏会で「今でも・・・ローセキは魔法の杖」という男声合唱組曲を歌いますが、作曲家の遠藤雅夫氏が当初の制作費を自腹を切って負担して出版された、と聞いています。

この場合、オーダーメイドの楽譜を作成するという方法もあるようです。何社かがこれを手がけていますが、そのうちのひとつである「キックオフ」に問い合わせしてみました。絶版・重版未定等で楽譜が入手できない場合、組曲の中の1曲だけを利用するような場合に、これらの作品のデータをデジタル方式で作成し、著作権の使用手続きを完了した後、いわゆるオン・デマンド方式で出版するシステムです。費用としては、<制作費>として 1頁 3,000円~7,000円(基準価格5,000円)、<本誌代>として、1部 1,000円~(ページ数によって異なります)とのことでした。もちろん、出版社の許諾が得られれば既存の楽譜からのコピーは可能です。ただ、現在出版されている楽譜の場合、許諾を得るのは難しいと思われるます。

いずれにしても私たちは音楽著作物の権利者(作詞家、作曲家等)の権利を尊重したいと思いますし、出版社に対しては、合唱曲の楽譜の出版と在庫の確保を要望していきたいと考えます。違法なコピーはできる限り消滅させたいものです

ぴよぴよ
ひよこ通信

平成 17 年度予定行事

7/ 3 (日)	第 28 回全日本おかあさんコーラス中国支部岡山大会 (岡山市立市民文化ホール)
8/21 (日)	第 58 回岡山県合唱コンクール (倉敷市玉島文化センター)
9/ 9 (金)	晴れの国おかやま国体 夏季大会 開会式
9/13 (火)	" 閉会式
10/22 (土)	晴れの国おかやま国体 秋季大会 開会式
10/27 (木)	" 閉会式
11/ 5 (土)	輝いて!おかやま大会 開会式
11/ 7 (月)	" 閉会式

お疲れ様でした。

国体合唱団、NHK・BS、合唱フェスティバルとたいへん忙しいスケジュールでした。NHK・BSにはたくさんの方が都合をつけて参加してくださり、本当にありがとうございます。

合唱フェスティバルで

参加費の郵便振込みについて

当日に参加費を持参された団体が多数ありました。受付では集金額が大金になり、たいへん危険です。参加人数増減の清算は当日いたしますので、事前の郵便振込みにご協力ください。

今年もタイムオーバーした団体がいくつか...

タイムテーブル通りに進行するためにスタッフはたいへんな努力をしています。「ちょっとぐらい」なんて思わずに、みんながルールを守って気持ちよいフェスティバルにしましょう。

会場をいっぱい!

浅井先生が提案されたように、どんな大会でも会場をお客さんでいっぱいにはませんか? 来年は中国合唱コンクールが岡山へやってきます。運営面でも皆様のご協力が必要ですが、いい演奏を聴いていいところを取り入れて、上手になっちゃいましょう!

県外の団体のすばらしい演奏を聴きましょう。

矢内副理事長からの提案です。高梁川・旭川・吉井川界隈だけで泳ぐのではなく、県外の川で泳いで大きくなって帰ってきましょう。

コンサートのごあんない ...みんなできてね!

京都エコー演奏会

と き	9月19日(月・祝) 開演 14:00
と ころ	倉敷市民会館
曲 目	「蔵王賛歌」「雨」「さとうきび畑」 「川の流れるように」「生きる」ほか
入場料	一般 1500円 / 大学生以下 1000円
問い合わせ	倉敷市文化振興財団チケットセンター 086-434-0010

編集後記 (^^)ノ

次号の発行: 6月上旬 原稿締め切り: 4月末

NHK・BSでは全国のお茶の間に岡山県合唱連盟の歌声をお届けすることができました。みんないい顔をして歌っていたのをビデオで見て胸がいっぱいになりました。

投稿のあて先は編集局へ!

〒703-8204

岡山市雄町487-1 筈尾 多美

E-mail: tamicchi@palette.plala.or.jp

F A X : 086-279-8211